

中央区 平成25年度 区運営方針

1. 主な現状と課題

中央区は従来、狭い地域の中で一体的なまちづくりが行われてきたことから、都市基盤の整備も進んでおり、地域のまとまりの良さもあって、地域住民によるコミュニティ活動が活発に行われています。また、古くから市場町として栄えた歴史から、蔵造り住宅などの街並みや文化財が残る一方、新都心地区周辺で新しい中高層の建築物が増えるなど、文化的な風情と近代的な景観の都市的な魅力が共存しています。

今後は、魅力ある中央区を目指すため、地域資源である歴史・文化・芸術、さらには区の花であるバラや緑を生かしたまちづくりを進めるとともに、安心・安全で歩いて楽しい道路整備など生活環境の維持保全が必要です。また、新しい住民や世代を超えた人々の交流によるコミュニティの形成と、区民と行政の協働を基盤としたまちづくりを推進することが課題です。

(1) 区民との協働のまちづくり

区の身近な課題を解決し、魅力あるまちづくりを実現していくためには、地域に住む人たちや様々な団体が相互に支え合い、地域全体で取り組む必要があります。



中央区区民会議

中央区では、区民の声を直接反映し、区民自らが魅力あるまちづくりに参画できるよう、コミュニティ協議会からの選出や公募の委員から成る区民会議を開催しています。

また、区内で幅広く活動するコミュニティ協議会加入団体の事業を支援し、協働によるまちづくりを進めています。

(2) 地域資源を生かしたまちづくり

区民との協働により、区内各所に花と緑を植栽するとともに、区の花である「バラ」をより一層普及させ、花と緑あふれる心豊かなまちづくりを推進します。

また、区内の地域資源である彩の国さいたま芸術劇場・蔵造りの住宅・さいたま新都心などを生かした芸術・文化が息づくまちづくりを進めます。



花と緑のまちづくり推進事業



バラのまち中央区アートフェスタ支援事業



さいたま芸術劇場出演者
手形レリーフ作成設置事業

(3) 安心・安全な住んで良かったと思えるまちづくり

交通安全施設（街路灯・道路反射鏡等）の維持管理等により、交通事故防止や路上犯罪の予防を図るほか、道路・河川等の修繕など、区民のニーズに迅速かつ柔軟に対応することにより、身近な生活環境を維持し、安心・安全な住んで良かったと思えるまちづくりを推進します。



道路反射鏡



道路の修繕



衛生害虫(ハチ)駆除も行っています

(4) 区制施行10周年を記念したバラの植樹

中央区の花であるバラは、旧与野市から「市民の花」として親しまれていますが、新しく区民となられた方や他市からの来訪者が、「区の花・バラ」に親しみを持っていただけるよう、区制施行10周年を記念して記念植樹を実施します。



中央区の花 バラ



撮影スポット(イメージ)

バラ園のある与野公園や彩の国さいたま芸術劇場への入り口である与野本町駅前公園に、区制施行時に誕生した10歳の子どもたちによる記念植樹を実施するとともに、写真撮影スポット（バラのアーチ等）を設置することで、「区の花・バラ」を生かしたまちづくりを進めます。

(5) 保健センターの耐震化・老朽化した設備の更新

市有建築物耐震化実施計画に基づき、平成22年度に耐震診断を行ったところ、構造耐震指標（Is値）0.29で耐震性が劣る（ランクⅢ）との結果が出ました。これは、大地震時に倒壊または崩壊する危険性が高く、大きな被害を受けることが想定される状況であることから、平成25年度耐震補強工事を実施します。



中央区保健センター

また、本施設は建設後36年が経過し、設備も老朽化しています。それに伴い、エレベーターにいたっては、平成25年度末で制御部等の部品が製造中止となっていることから、今後故障した場合には使用ができない状態が危惧されます。

施設利用者の安心・安全を確保するため、平成25年度に設計を行い、その後本体改修をする計画です。

2. 基本方針・施策体系別主要事業

中央区の地域は、古くは市場町として栄え、明治から大正は織物の町、そして昭和には自動車の町へと、時代と共に変貌を遂げてきました。近年は、交通の利便性の良さや落ち着いた環境から、住宅地としての人気が高まっています。

まちの姿は、さいたま新都心に代表されるように、近代的な都市景観に生まれ変わりつつありますが、その一方、人々の心と心がふれあうコミュニティ活動も盛んで、四季折々の伝統行事も数多く催されています。

こうした多様な地域資源を生かし、魅力ある住んで良かったと思える中央区を目指し、区民との協働により、各種事業に積極的に取り組みます。

(1) 区民との協働のまちづくりを推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
1	総	区民会議の運営 〔コミュニティ課〕	346 (346)	562 (562)	区民の声を直接反映し、区民自らが魅力あるまちづくりに参画できるよう、コミュニティ協議会からの選出や公募の委員から成る区民会議を開催

(2) 地域資源を生かしたまちづくりを推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
2	総	中央区花と緑のまちづくり推進事業 〔コミュニティ課〕	1,800 (1,800)	1,800 (1,800)	区民・団体等との協働により、区内のプランター等に花苗を植えるとともに、種等をイベントの際に配布し、花と緑を普及・啓発
3	総	アートストリート事業 〔コミュニティ課〕	5,300 (5,300)	4,800 (4,800)	JR与野本町駅から彩の国さいたま芸術劇場までを、アート空間の創出をコンセプトに、芸術劇場出演者の手形レリーフやバナーを掲出

(3) 安心・安全な住んで良かったと思えるまちづくりを推進します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
4	総	交通安全施設緊急修繕事業 〔くらし応援室〕	30,762 (30,762)	22,740 (22,740)	街路灯・道路反射鏡等の維持管理による区民の交通事故防止及び交通の円滑化
5	総	土木緊急修繕事業 〔くらし応援室〕	80,192 (80,192)	75,000 (75,000)	道路、下水、水路等に関する緊急修繕を行い、区民の安心・安全を確保

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災・環境・エネルギー対策
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
6	新 総	ヒヤリハットマップ作成事業 〔くらし応援室〕	366 (366)	0 (0)	交通事故及び犯罪から身の安全を守るため、区内小学校の学区ごとに危険箇所のマップを作成

(4) 区制施行10周年を記念し、「区の花・バラ」の記念植樹を実施します。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
7	新 総	区制施行10周年記念事業 〔コミュニティ課〕	2,500 (2,500)	0 (0)	区制施行時に誕生した10歳の子どもたちによる「区の花・バラ」の記念植樹と写真撮影スポットを与野本町駅前公園に設置

(5) 健康づくりの拠点として、適正な施設維持管理を行います。

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
8		保健センターの耐震化等適正な施設維持管理 〔保健センター〕	103,409 (54,012)	34,443 (31,929)	区民の健康づくりの拠点である保健センターの施設維持管理

3. 行財政改革への取組

(1) 提案型公共サービス公民連携制度事業の推進

- ① 区のガイドマップ作成について、紙面の充実等市民サービスの向上を図るとともに、経費を削減します。〔コミュニティ課〕
- ② 区役所庁舎を有効活用し、広告付き案内板の設置により自主財源を確保します。〔総務課〕

(2) 既存事業の見直しによるコスト削減の取組

既存事業の見直しによるコスト削減額	718 千円
-------------------	--------

- ① 各種印刷物及び啓発用物品等について、実績に基づき数量や内容を精査しました。〔くらし応援室・総務課・保健センター〕(530千円)
- ② 区民会議のホームページを市ホームページと整理統合することで経費の削減を行いました。〔コミュニティ課〕(38千円)

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化